



平成29年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年6月14日

上場会社名 株式会社 ブラス 上場取引所 東 名
 コード番号 2424 URL http://www.brass.ne.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 達明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 河合 智行 TEL 052-571-3322
 四半期報告書提出予定日 平成29年6月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年7月期第3四半期の業績（平成28年8月1日～平成29年4月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第3四半期	6,542	28.4	743	62.9	718	69.5	451	89.7
28年7月期第3四半期	5,096	—	456	—	423	—	238	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第3四半期	80.85	—
28年7月期第3四半期	48.13	—

- (注) 1. 当社は、平成27年7月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、平成28年7月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 3. 当社は、平成28年1月5日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。また、平成28年11月1日付及び平成29年1月1日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年7月期第3四半期	8,111	2,984	36.8	533.82
28年7月期	7,217	2,560	35.5	457.97

(参考) 自己資本 29年7月期第3四半期 2,984百万円 28年7月期 2,560百万円

- (注) 当社は、平成28年1月5日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。また、平成28年11月1日付及び平成29年1月1日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期	—	0.00	—	20.00	20.00
29年7月期	—	0.00	—		
29年7月期（予想）				10.00	10.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 平成29年7月期期末配当金の内訳 普通配当7.5円 記念配当2.5円
 3. 平成28年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。また、平成29年1月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成29年7月期（予想）の年間配当につきましては当該株式分割を考慮しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成29年7月期（予想）の年間配当は1株当たり40円に相当いたします。

3. 平成29年7月期の業績予想（平成28年8月1日～平成29年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,393	18.1	824	35.0	778	35.6	408	28.4	72.64

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 平成28年11月1日付及び平成29年1月1日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。また、平成29年5月2日付で払込が完了したオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資（118,900株）を行っております。そのため、業績予想の「1株当たり当期純利益」については当該株式分割及び第三者割当増資を考慮して算出しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年7月期3Q	5,590,400株	28年7月期	5,590,400株
② 期末自己株式数	29年7月期3Q	一株	28年7月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年7月期3Q	5,590,400株	28年7月期3Q	4,950,400株

（注）当社は、平成28年1月5日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。また、平成28年11月1日付及び平成29年1月1日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による各種政策の効果もあり、雇用・所得環境の着実な改善、個人消費の持ち直しの動きが継続している等、景気動向は緩やかな回復基調で推移しております。しかしながら、中国を始めとするアジア新興国の景気下振れ懸念、英国の欧州連合離脱問題、米国新政権の影響による為替相場や株式市場の不安定化等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社が属するウェディング業界におきましては、少子化の進展・結婚適齢期人口の減少を背景に、挙式・披露宴件数は緩やかな減少傾向にあります。また、業界全般的に施設への集客数が低下しており、受注競争はさらに激化していくことが予想されます。一方で、ハウスウェディングの需要は底堅く推移し、デフレ下であるにもかかわらず挙式・披露宴にかけられる費用は年々増加傾向にあります。

このような環境の中、当社は「それぞれの新郎新婦にとって最高の結婚式を創る」との企業理念に基づき、一軒家を完全貸切し、施設全体を利用した多彩な演出を実現、自宅にお客さまを招く感覚で挙式・披露宴を挙げることができる仕組みを確立しております。同業他社の多くは、複数のパーティ会場を施設内に設け、1日何組ものお客さまを扱いますが、当社はすべての会場を「1チャペル・1パーティ会場・1キッチン」とし、貸切の贅沢感を重視しております。また、結婚式場としては小型店舗のため、用地確保の難しい大都市から、人口が比較的少ない郊外においても出店を可能とし、事業展開をしております。

今後の店舗展開につきましては、平成29年7月にグランドオープンを予定しております「ラピスコライユ（静岡県静岡市）」、平成29年10月にグランドオープンを予定しております「オリゾンブルー（静岡県沼津市）」の準備を推進し、将来収益の拡大に努めております。また、前事業年度にオープンしました「ミエルシトロン（三重県四日市市）」、「ミエルココン（三重県津市）」の好調な業績貢献に加えて、平成29年3月にグランドオープンしました「ブランリール大阪（大阪府大阪市）」についても堅調に推移しております。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は6,542,204千円（前年同期比28.4%増）、営業利益743,555千円（前年同期比62.9%増）、経常利益718,306千円（前年同期比69.5%増）、四半期純利益451,964千円（前年同期比89.7%増）となりました。

また、平成29年4月7日には東証マザーズから東証第一部へ、名証セントレックスから名証第一部へ市場変更いたしました。市場変更による知名度や信用力の向上は、今後の当社の業績にプラスに作用するものと期待しております。

なお、当社はウェディング事業の単一セグメントであり、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、8,111,059千円（前事業年度末比893,900千円増）となりました。これは主に、現金及び預金（前事業年度末比177,586千円減）が減少したものの、有形固定資産（前事業年度末比1,001,621千円増）が増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、5,126,809千円（前事業年度末比469,888千円増）となりました。これは主に、未払金（前事業年度末比82,572千円増）、前受金（前事業年度末比107,553千円増）及び長期借入金（前事業年度末比236,734千円増）が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、2,984,249千円（前事業年度末比424,012千円増）となりました。これは、四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金（前事業年度末比424,012千円増）が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月期通期の業績予想につきましては、平成28年9月14日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	949,894	772,308
売掛金	33,749	56,169
商品	29,390	39,488
貯蔵品	33,467	47,588
前払費用	73,663	70,236
繰延税金資産	29,647	29,243
その他	2,649	5,634
貸倒引当金	△5,591	△6,111
流動資産合計	1,146,872	1,014,558
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,898,148	7,372,267
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,159,297	△2,418,615
建物（純額）	4,738,850	4,953,651
構築物	679,624	722,571
減価償却累計額及び減損損失累計額	△343,424	△375,386
構築物（純額）	336,200	347,185
機械及び装置	657	657
減価償却累計額及び減損損失累計額	△564	△599
機械及び装置（純額）	92	57
車両運搬具	18,690	19,671
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,778	△16,533
車両運搬具（純額）	911	3,138
工具、器具及び備品	645,361	759,616
減価償却累計額及び減損損失累計額	△472,633	△520,232
工具、器具及び備品（純額）	172,727	239,384
土地	51,842	51,842
建設仮勘定	52,117	759,102
有形固定資産合計	5,352,741	6,354,362
無形固定資産		
ソフトウェア	13,683	19,016
その他	9,477	8,784
無形固定資産合計	23,161	27,800
投資その他の資産		
出資金	20	20
差入保証金	359,319	359,670
長期前払費用	59,399	55,752
繰延税金資産	273,907	297,142
その他	1,738	1,750
投資その他の資産合計	694,384	714,337
固定資産合計	6,070,287	7,096,500
資産合計	7,217,159	8,111,059

（単位：千円）

	前事業年度 (平成28年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	272,531	333,282
短期借入金	100,000	—
1年内償還予定の社債	58,200	55,800
1年内返済予定の長期借入金	838,603	869,562
未払金	216,855	299,427
未払費用	75,958	95,743
未払法人税等	205,457	178,354
未払消費税等	15,038	86,207
前受金	195,359	302,913
その他	44,163	35,275
流動負債合計	2,022,166	2,256,566
固定負債		
社債	36,700	2,500
長期借入金	2,122,755	2,359,489
退職給付引当金	42,300	49,838
資産除去債務	252,999	278,415
その他	180,000	180,000
固定負債合計	2,634,754	2,870,242
負債合計	4,656,921	5,126,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,740	471,740
資本剰余金		
資本準備金	451,740	451,740
その他資本剰余金		
自己株式処分差益	60,705	60,705
資本剰余金合計	512,445	512,445
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,576,052	2,000,064
利益剰余金合計	1,576,052	2,000,064
株主資本合計	2,560,237	2,984,249
純資産合計	2,560,237	2,984,249
負債純資産合計	7,217,159	8,111,059

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年4月30日)
売上高	5,096,088	6,542,204
売上原価		
商品期首たな卸高	32,376	29,390
当期商品仕入高	1,937,087	2,498,730
合計	1,969,464	2,528,121
他勘定振替高	22,037	25,370
商品期末たな卸高	33,932	39,488
商品売上原価	1,913,494	2,463,262
売上総利益	3,182,594	4,078,942
販売費及び一般管理費	2,726,161	3,335,387
営業利益	456,432	743,555
営業外収益		
受取利息	185	17
受取賃貸料	15,429	18,315
その他	8,112	5,674
営業外収益合計	23,727	24,007
営業外費用		
社債利息	1,297	749
支払利息	31,562	18,521
株式交付費	8,608	3,253
株式公開費用	11,760	20,896
その他	3,147	5,834
営業外費用合計	56,375	49,256
経常利益	423,784	718,306
特別利益		
固定資産売却益	84	83
特別利益合計	84	83
特別損失		
固定資産除却損	4,266	6,731
特別損失合計	4,266	6,731
税引前四半期純利益	419,602	711,657
法人税、住民税及び事業税	172,670	282,524
法人税等調整額	8,654	△22,831
法人税等合計	181,325	259,693
四半期純利益	238,277	451,964

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

(重要な事業の譲受)

当社は、平成29年2月16日開催の取締役会において、株式会社ビーライン（以下、「ビーライン社」という）が保有しているブライダル事業「ヴィラエッフェ」を譲り受けることを決議し、平成29年3月31日に同社と事業譲渡契約を締結いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 事業を譲り受ける相手企業の名称及びその事業内容

相手企業の名称 株式会社ビーライン

事業の内容 レストラン事業、ブライダル事業

(2) 事業譲受けを行った主な理由

ビーライン社が保有しているブライダル事業「ヴィラエッフェ」を譲受することにより、当社のビジネスモデルを活かし、静岡県における営業基盤を強化するとともに、業務効率の向上が図れるものと判断し、同社の事業を譲り受けることといたしました。

これまでレストラン営業を柱に運営されてきましたが、今回の譲受により、完全貸切のハウスウェディング会場としてリニューアルし、更なる事業の成長発展を図ってまいります。

(3) 事業譲受日

平成29年7月1日（予定）

(4) 企業結合の法的形式

事業譲受

(5) 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

2. 譲受事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

現金 305,000千円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 15,250千円

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定していません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ウェディング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(重要な新株の発行)

当社は東京証券取引所市場第一部への市場変更に関連して、平成29年3月15日開催の取締役会において、オーバーアロットメントによる売出しに伴う第三者割当による株式の発行を決議いたしました。当該決議に基づいて、当社は主幹事証券である東海東京証券株式会社を割当先とした第三者割当による株式の発行を行い、次のとおり平成29年5月2日に払込が完了いたしました。

第三者割当増資による新株式発行(オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連する第三者割当)

①発行株式数	普通株式	118,900株
②払込金額	1株につき	1,056.62円
③払込金額の総額		125,632,118円
④増加する資本金及び 資本準備金に関する事項	増加する資本金1株につき 増加する資本準備金1株につき	528.31円 528.31円
⑤資本金組入額の総額		62,816,059円
⑥割当先及び割当株式数	東海東京証券株式会社	118,900株
⑦払込期日		平成29年5月2日
⑧資金使途		平成29年7月出店予定のラピスコライユ(静岡県静岡市)の 店舗設備の取得資金の一部に充当する予定であります。